

救急科

■一般目標 GIO

- 1) 救急搬送された患者に対して、適切な初期診療を行うために必要な知識、技術を習得する。
- 2) 時間外に walk-in で来院する患者を適切な順番で、効率よく診察するために、トリアージの基本的な考え方・方法を理解し、習得する。
- 3) 救急外来を受診した患者を当該科へスムーズに紹介するために、必要な事項を選択し、コンサルトすることができる。
- 4) 患者及び家族に対して最良のケアを提供するために、必要な医療面接の方法を身につける。
- 5) 検査や入院を迅速に行うために、コメディカルと協調することができる。

■行動目標 SBO

- 1) 救急搬送された患者に対して、適切な初期診療を行うために必要な知識、技術を習得する。
 - ① スタンダードプレコーションの考え方を理解し、実行できる。
 - ② モニター付き除細動器を使用できる。
 - ③ 気管挿管を実施できる。
 - ④ パラパック(人工呼吸器)を使用できる。
 - ⑤ GCS(グラスゴー・コーマ・スケール)を判定できる。
 - ⑥ 動脈血ガス分析の結果を判定できる。
 - ⑦ 腹部エコー検査を実行し、診断できる。
 - ⑧ BLS、ACLS、JATEC の基本的な考え方を理解し、実行できる。
 - ⑨ 静脈路を確保できる。
 - ⑩ 皮膚縫合を含む、基本的な創傷処置の仕方を理解し、実行できる。
 - ⑪ 画像カンファレンスで担当症例についての説明ができる。
 - ⑫ 救急症例検討会に症例を呈示できる。
- 2) 時間外に walk-in で来院する患者を適切な順番で、効率よく診察するために、トリアージの基本的な考え方・方法を理解し、習得する。
 - ① 呼吸・循環が保たれている際に、短時間で全身状態を把握することができる (BLS の ABC を理解している)。
 - ② カルテや看護師の問診票などから、すばやく情報を得ることができる。
 - ③ 画像検査、静脈路確保、採血、心電図検査などの優先順位を付けることができる。
 - ④ コメディカルと共同でチーム医療を行うことができる。
- 3) 救急外来を受診した患者を当該科へスムーズに紹介するために、必要な事項を選択し、コンサルトすることができる。
 - ① 当日の各科担当医を把握している。
 - ② 各科の担当領域を理解している。
 - ③ 情報を要約することができる。
- 4) 患者及び家族に対して最良のケアを提供するために、必要な医療面接の方法を身につける。
 - ① 待っている家族に対して(途中)経過を報告することができる。

- ② 難解な医学用語を用いず、平易な言葉を用いて説明できる。
 - ③ 患者に対して常に説明や呼びかけをすることができる。
- 5) 検査や入院を迅速に行うために、コメディカルと協調することができる。
- ① 搬送、移動に協力することができる。
 - ② 画像や検査部門への緊急依頼連絡をすることができる。
 - ③ 患者に関する情報を的確に提供することができる。

■学習方略 Learning strategy

LS1: 指導医とともに救急搬送された患者の初期対応を行う。

LS2: 指導医とともに当直を行い、時間外に walk-in で来院した患者の診療を行う。

LS3: ICU 回診(毎週水曜日午後2時30分から)において、入院患者の病歴サマリーを作成し、プレゼンテーションを行う。

LS4: MCC (morning case conference)に症例を呈示し、討論を行う。

LS5: 造影 CT 施行患者の血管確保を行い、造影検査を安全に行う。

LS6: 画像カンファレンス(隔週木曜日午前7時30分から)に参加し、各種画像の読影について学ぶとともに、救急外来受診患者のプレゼンテーションを行う。

■評価 Evaluation

- ① 指導医とともに救急患者初期診療に携わるので、その度毎に診療内容を評価し、フィードバックする。
- ② 電子カルテの記載内容および To do list の内容を評価し、カルテ上でフィードバックする。
- ③ 救急外来研修日誌の記載内容をチェックし、研修内容に偏りが無いかをみる。
- ④ 研修修了時に研修責任者と面談を行い、目標達成度を確認する。
- ⑤ 総括的評価 コメディカルによる評価は、EPOC 及び研修管理委員会から各研修医にフィードバックされる。

■週間スケジュール

月 一日救急外来担当および造影 CT 患者の血管確保。夜は当直。

火 救急外来研修日誌を記入した後、朝から帰宅。

水 一日救急外来担当および造影 CT 患者の血管確保。午後、ICU 回診。救急外来研修日誌に記入後、帰宅。

木 一日救急外来担当および造影 CT 患者の血管確保。夜は当直。

金 救急外来研修日誌を記入した後、朝から帰宅。

その他毎日、外来患者がいない時に、手術室で気管挿管実習や生理検査室で腹部エコー操作の研修。

空き時間を見て、BLS、ACLS および外傷初期診療の off the job training。